

農業後継者育成基金事業

令和元年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立種子島高等学校

1 目的

本校の入学生の多くは第二種兼業農家と非農家であるため、農業学習・農業体験を行うことで、興味・関心を高めていく必要がある。そのため、地域農業及び先進的な農家の実態を把握させるための視察研修や職場体験学習は、農業への興味・関心を持たせるとともに、就農意欲の醸成と教育的効果が高いと考える。

2 実施状況

2年生島内視察研修

生物生産科2年生30名が、島内の先進的な農家および施設を見学した。最初に古田農場において種子島特産となっているレザーリーフファンの生産について、次に種子島特産である安納芋の付加価値を高めるための種子島でも大規模な加工施設を持っている西田農産を、最後に南種子町キャトルセンターおよび南種子町育苗センターでは種子島における肉用牛の繁殖について学び、育苗センターでは、本校から出荷している安納芋の無菌苗の増殖に取り組んでおり、苗の増殖とその課題について学んだ。今回の研修によって、種子島地域の気候や特質を活かした農業のあり方を参考にすることができ、また自分たちが普段から行っている学習の成果が地域の農業に直結していることを理解することができた。



3 今後の課題、取り組み

本事業を活用することは、生徒にとって有意義な視察や研修を実施できる。生徒の意欲が研修後も継続できるように、学校の農業教育と並行していきたい。本年度は1・2年生ともに島内視察を行ったが、来年度以降は、1年生島内視察、2年生島外視察を行う予定である。本年度の農業に関する進路実績は、農業大学校進学者3名であった。農業従事者および農業理解者を育て、地域農業を支える人材育成に尽力していきたい。